



**2023年度上期
(2024年3月期 第2四半期)
決算補足説明資料**

東亜ディーケーケー株式会社

2023年10月

■ 売上高：国内の好調な設備投資需要獲得により増収

（国内）半導体設備の旺盛な投資需要などを捉え大幅増収

（海外）中国政府主導の環境水質計案件が大きく減少し減収

■ 利益：増収・原価率改善により増益

（単位:百万円）

	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	7,154	7,666	+511	+7.2%
営業利益 売上高比	360 5.0%	545 7.1%	+185	+51.4%
経常利益 売上高比	372 5.2%	570 7.4%	+198	+53.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	311 4.4%	391 5.1%	+80	+25.9%

計測機器事業（増収増益）

売上高7,544百万円（7.3%増）、セグメント利益956百万円（28.1%増）

- 国内売上高：医療関連機器分野以外で増収
 - ①環境・プロセス分析機器：受注残解消に加え、半導体関連の旺盛な設備投資需要や浄水場等公共インフラの活発な更新需要を取り込み大幅増収
 - ②科学分析機器：受注残解消と堅調な販売により増収
 - ③医療関連機器：コロナ禍からの回復需要が一巡し減収
 - ④電極・標準液、保守・修理及び部品・その他：
保守点検が計画通りに行われ、販売価格改定の効果もあり増収
- 海外売上高：特に注力している東南アジアでの販売は好調も、中国経済の回復の遅れにより中国政府主導の環境水質計案件が大きく減少し減収
- 利益：増収に加え、販売価格の一部改定や製造原価低減による売上原価率の改善で増益

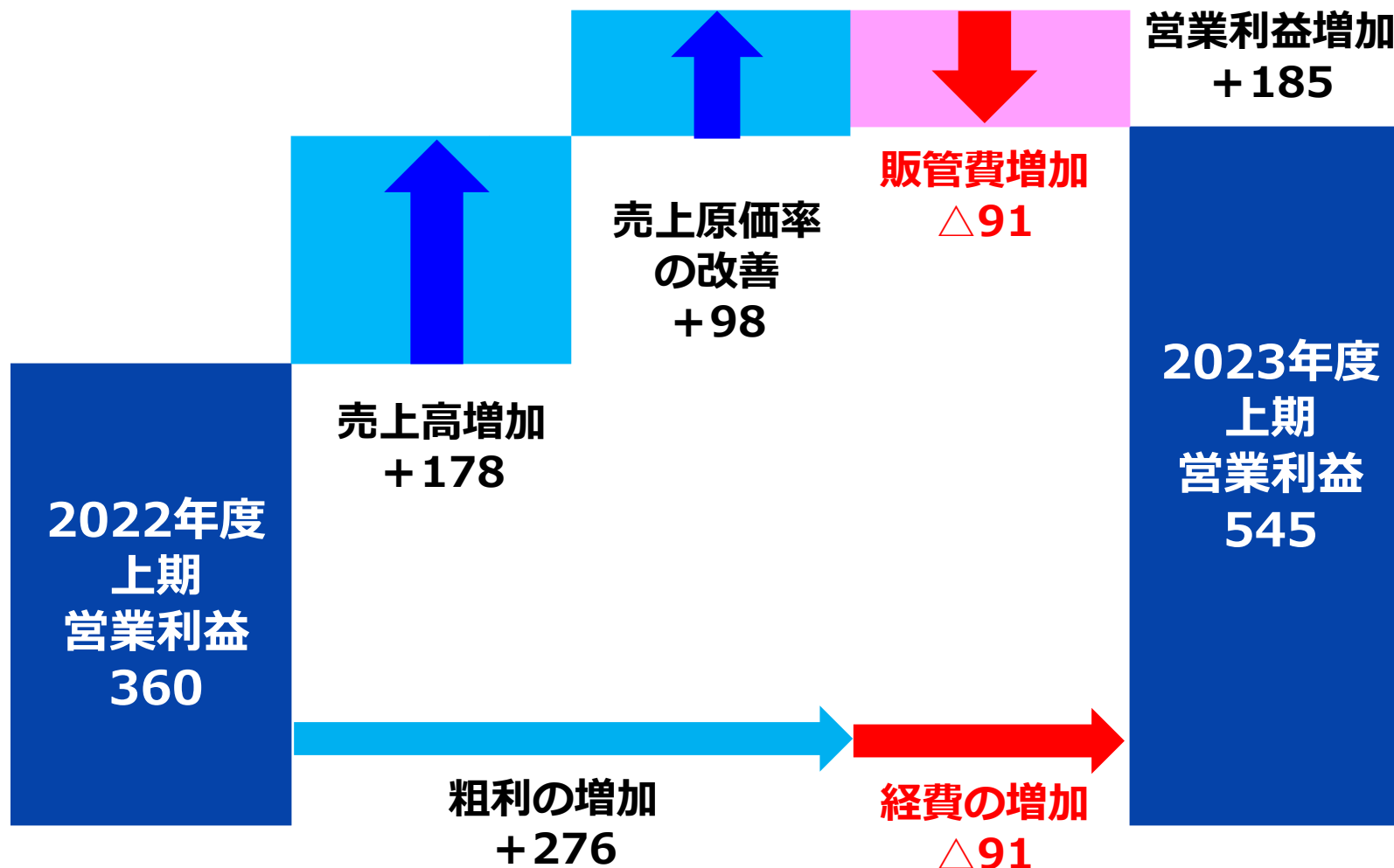
不動産賃貸事業（増収減益）

売上高121百万円（0.1%増）、セグメント利益67百万円（6.4%減）

- 主な賃貸物件は、本社に隣接しているビル1棟と駐車場

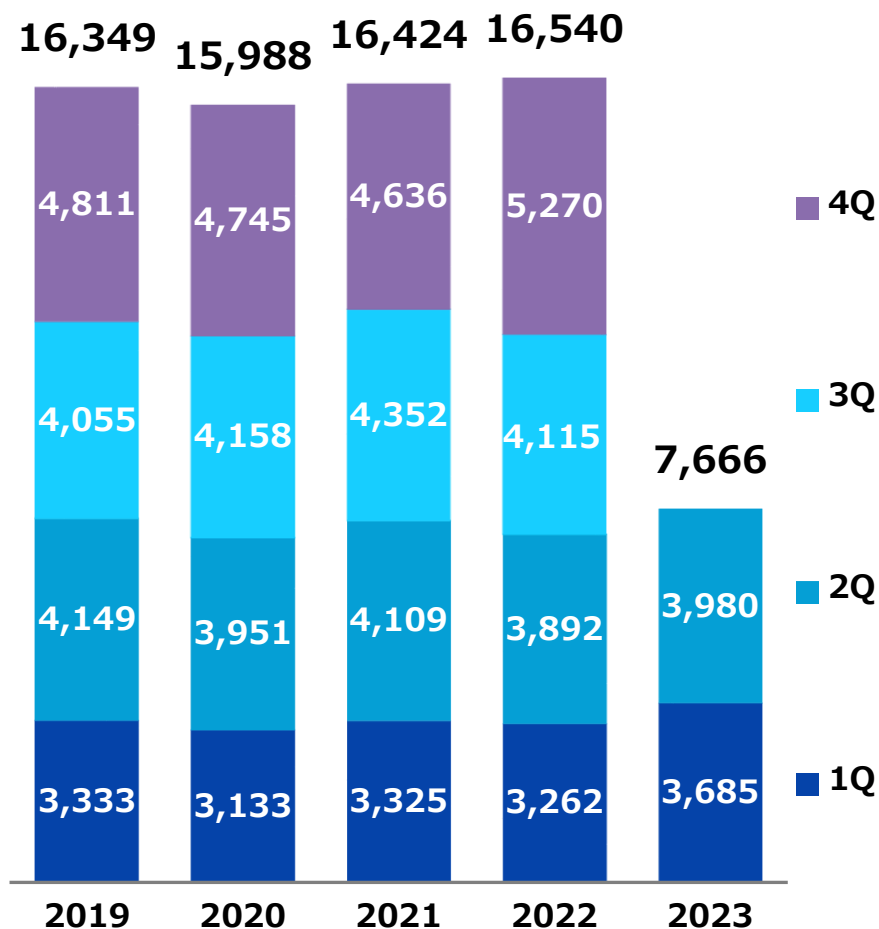
営業利益の増減分析

(単位:百万円)

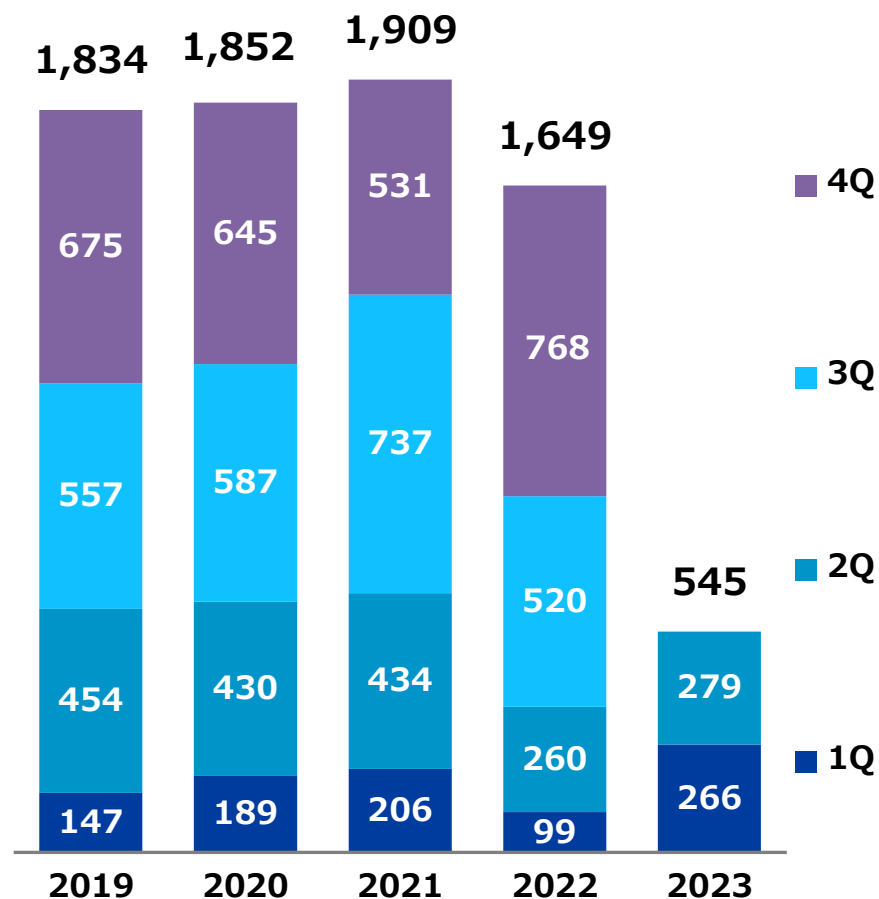


(単位:百万円)

売上高

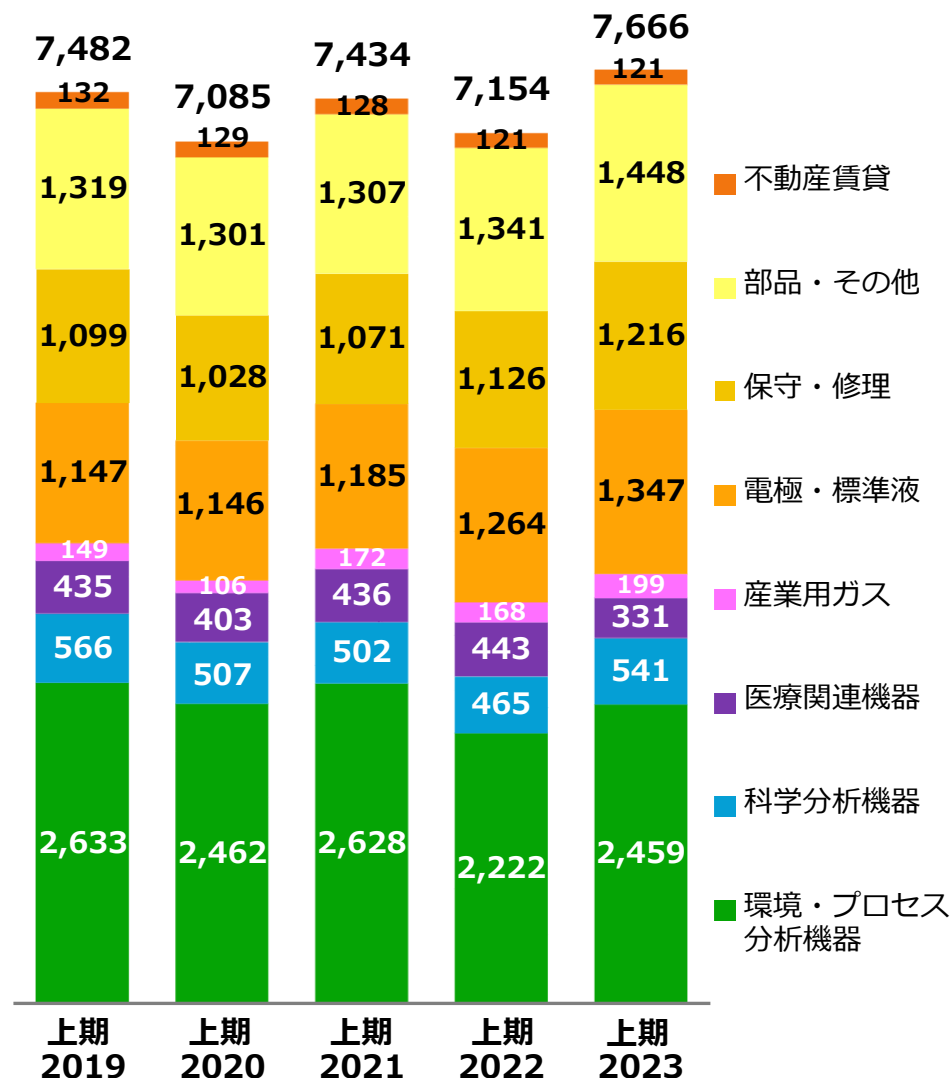
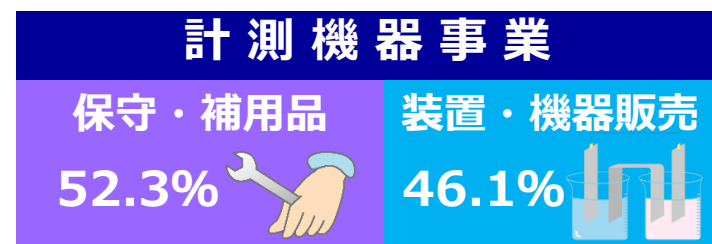
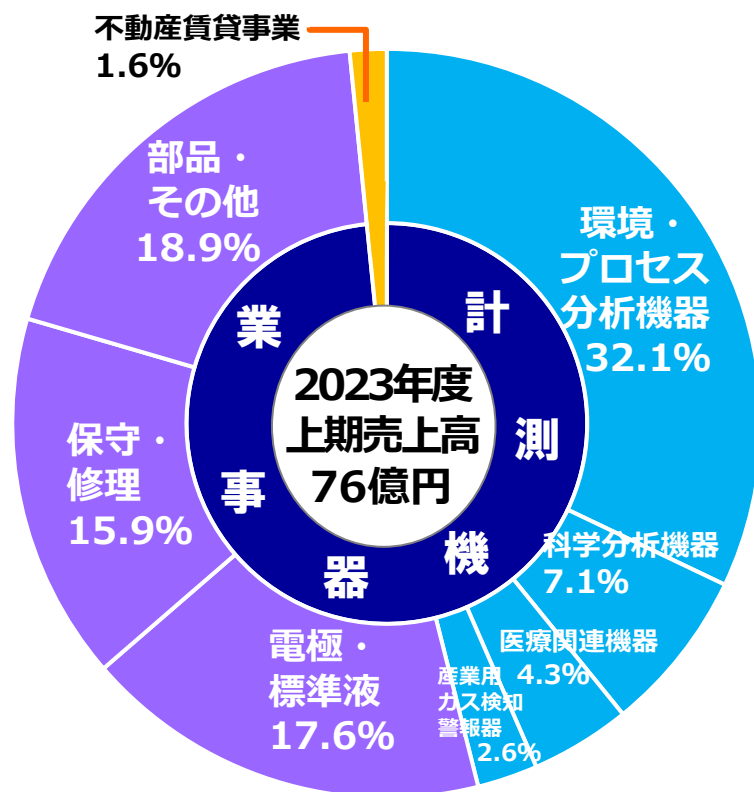


営業利益



分野別構成比と売上高推移

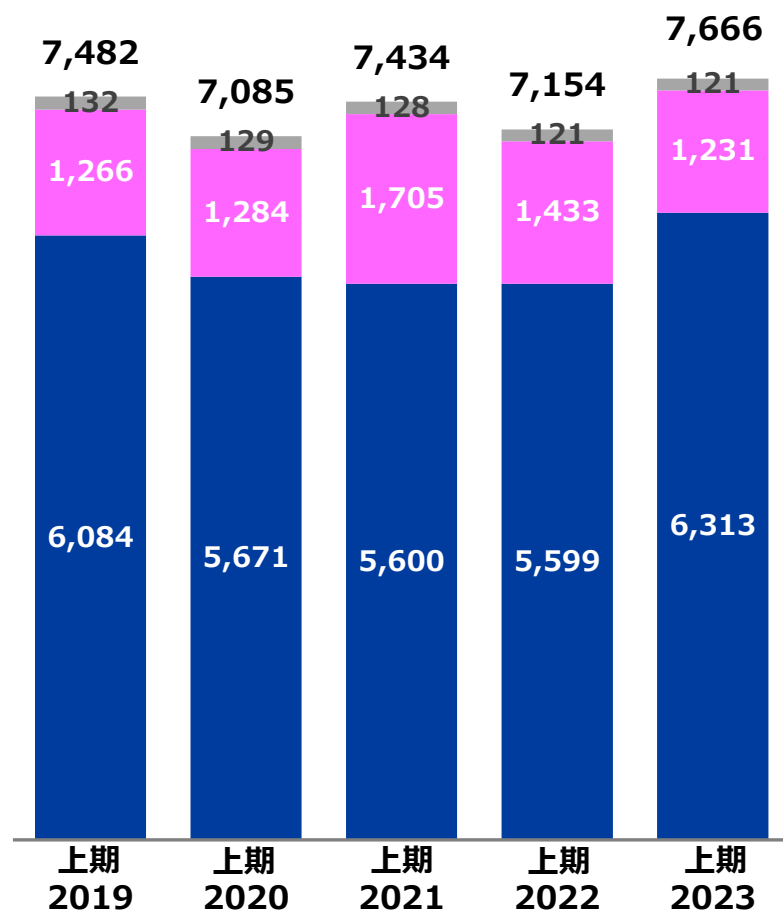
(単位:百万円)



(単位:百万円)

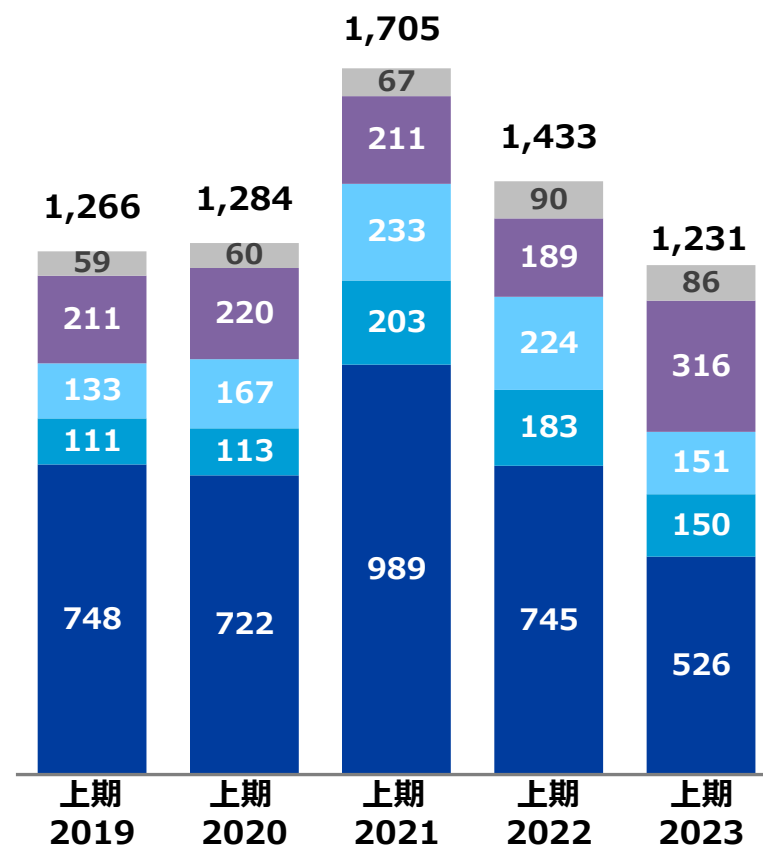
国内外の売上高

■ 計測機器：国内 ■ 計測機器：海外 ■ 不動産賃貸



海外の国別売上高

■ 中国 ■ 韓国 ■ 台湾 ■ その他アジア ■ その他



- 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 本説明資料中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しておりますので、表中の内訳と合計が一致しない場合があります。
また、諸比率は円単位で算出の上、小数点第2位を四捨五入しておりますので、合計が100.0%とならない場合があります。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：https://www.toadkk.co.jp/